

## 地域協創特別コースでは、令和9年度学生募集から 総合型選抜Ⅰと一般選抜（前期日程）で入試を行います

農学部農学生命科学科の地域協創特別コースにおいては現行の入学者選抜（令和7年度学生募集および令和8年度学生募集）は一般選抜と学校推薦型選抜Ⅰで入学者選抜を行っています。この選抜方法を一部変更し、令和9年度選抜においては、学校推薦型選抜Ⅰを廃止し、代わりに総合型選抜Ⅰを新設します。一般選抜（前期日程）は引き続き実施します。

地域協創特別コースは農学部の他の3コースを俯瞰的・横断的に学習し、地域課題を解決できるリーダーを育成する教育理念を掲げており、主体的な課題発見能力や問題の分析・解決策を見出す能力に長けた学生を求めています。このことから、現在は一般選抜と並行して学校推薦型選抜Ⅰを実施し、面接試験の中で、主体的な自主研究活動や探究学習への取り組み姿勢や能力について評価していました。しかし、現行の面接試験ではユニークな自主研究への取り組みとその成果を深くディスカッションするには限界があり、今後は入試の形式を改善し、自主的な研究活動の内容についてデータに基づきプレゼンテーションしていただくこととしました。これに合わせ、入試区分も「総合型選抜Ⅰ」とすることにより、より多くの志願者に応募していただけるようにしました。

即ち、志願者は、志望理由書と自己推薦書を一次選考用の書類として提出することになり、自己推薦書には探究学習または自主的な研究活動などをレポート形式で記入します。第二次選考ではこの内容をプレゼンテーションしていただくこととなります。なお、一般選抜（前期日程）については今後も引き続き継続しますので、仮に不合格となった方でも、再度、一般選抜を受験することが可能です。